中学校 家庭科の授業シラバス

教科	科目 名等	学年	履修 形態	実授 業数	教科書	副教材など
技術	家庭	3年	必修	60	NEW 技術・家庭 家庭分野	ニューライブラリ
家庭	250,000	0 1	70 IS		くらしを創造する(教育図書株式会社)	資料集+食品成分表

コース(総合)で実施

1 学習目標

年間 学習 目標 「家族・家庭生活」,「衣食住の生活」,「消費生活・環境」に関することを、それぞれ関連させながら、生活の自立に必要な知識や技能などを学習する。家庭や社会の中で、自分にできることを積極的に行いながら、将来の自立を目指す。

2 授業進度

	1 学期	2学期	3 学期			
学習内容	私たちの住生活	幼児の生活と家族	消費生活・環境			
	【「住まいの働き」グループワーク】	・幼児の衣食住の生活	・契約の成立と未成年取消権			
	・災害に備えた安全な住まい	• 生活習慣、家庭内事故	・多様なキャッシュレス決済			
	・住まいの働き	遊びと発達のかかわり	・悪質商法・クーリングオフ			
	・住みやすい空間、環境、健康	【グループワーク】	・エシカル消費			
	〈第1回〉 調理実習	〈第2回〉 調理実習	〈第3回〉 調理実習			
備考						

^{*}なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識· 技能	定期考査(配点の約 70%)、 調理実習	基準	知識•技能	学期 A B C	3段階 C 3段階	総合語	・観点別評価を基 に、各学期10段階 で総合評価
	思考· 判断表現	定期考査(配点の約30%)、パフォーマンス評価(課題レポート、グループ活動の話し合いの記録・発表)		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B (3段階 C 3段階	評価・評定の	・各学期評価に基 づいて年度末5 段階評定 ・観点別の配分比 率は次の通り
	主体的 学習態 度	パフォーマンス評価(課題レポート、発表の評価、ノート、授業プリント提出状況及び出欠席)		主体的 学習態 度	1,791, 11 15	C 3段階 C 3段階	算出	知識等:思考等: <u>主体的態度</u> = 4:4:2

*紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記